

ダンジョンでブブキ使
いがいるのは、間違っ
ているのだろうか

(*・`?・`*)? ??

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

この小説は、初めて書くものですとどこどこおかしなところあるかもしれませんがこのところは、ご了承ください

目次

プロローグ | 1

いちおの設定 | 5

プロローグ

???
side

「……うお」

「おっ起きた起きたやつほうちようしどうだい？」

「うん？あんた誰だ？」

俺の前には、女の子と見間違えるほどの美男子がいた

「およくぞ聞いてくださいました、俺たちが世界と呼ぶ存在、あるいは、世界あるいは、

「いや、どこかの真理の紹介しなくていいから」おっと君以外と冷静だねまあいつか」

「で、()どこなの？」

「あれ、君()にかかるまでの記憶思い出してないの？まくありがちな事故死で頭を思いつきり打ってるからそりゃあ記憶もふつとぶか」

「事故？おろろあつ！そおじゃん俺、暇つぶしで家の周辺を散歩してたら車に引かれたんだ！えっ！じゃあただ散歩してただけで死んだの！俺が住んでいたところ田舎だよ！まじかー！ー！ー！ー！ー！ー！！！！」

「いや、君以外と危険なこととしてたよ例えば、飛び出しとか、イヤホンを両耳付けて歩い

たりしてたし事故に会う要因は、あつたと思うよ」

「まあ、こちらの手違いで死んでしまったのは、変わりないけどね、ホントーに、ごめんなさい! m (;) m」

「えっ! まじで! 手違いで死んだの! まあいつかべつに」

「えっ意外と軽い? なんでそんなに軽く思えるの?」

「あく俺終わったことは、あんまり悩んだりしないことにしてるから別いいよ?」

「あと、誰にも間違いは、あるもんだから気にしないでね」

「あつありがとう」ウルウラ

「このあと俺は、どおなるの? 転生とか? 転移とか?」

「あれ? なんでそんなに、詳しいのか? まさか前にも体験したことあつたりするの?」

「いや、流石にない漫画とか小説とかでこういうてんかいは、予想できていたからなんとなく冷静で入れた感じかな? ちなみに転生得点とかあるの?」

「おっ、話しが早くて助かるよで、転生得点は、何がいいかな? いちよ上から何個でもいいよと言われているからなんこでもいいよ、あつ世界を壊したり世界を変えるのは、さすがになしね」

「わかった、そんなにもらつたら今後の人生に厄介事とかに巻き込まれやすくなるから1個、2個とかにしようかな?」

「もう少し増やしてもいいんだよ？」

「いやいいよそこまで欲しいのじゃないから」

「じゃあブキ・ブランキのブキとブランキが使えるようになりたいのと、あと自分でブキとブランキ作れるようになりたい」

「OK、わかったブキ・ブランキのブキとブランキ使える用にするのとブキとブランキを自分で作れるようになることだねわかった」

「あつあとブランキの体は、大きすぎるから収納スキルに入れておいたからあと作ったブキは、このスキルに入れておいてねあと、このリンズだつて？これは、無限に使えるようにしたから」

「えっそんな事もしてくれたのありがとうございませうとできるのであれば、ブランキの大ききさとかも変えると嬉しいのだけどいい？」

「わかった任せといてくださいあと転移か転生、行きたい世界も選べるかられらんで」

「んんんそおだなじやあ転移で転移先は、ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうかの世界に行きたいです」

「わかった転移でダンまちの世界だねわかったよしじゃあそろそろ転移させるね第2の人生楽しんでね」

「それと本当にごめんなさい」

「いいよ、それじゃいってきます」

そおして目の前が真っ暗になっていった、こおして俺は、ブブキ・ブランキの力でダ
ンまちの世界に転移することになりました。

「あつそおいえば名前きくの忘れてた」

いちおの設定

オリ主人公

・一希 西（かざき すい） ・性別 男 ・年齢 16歳
 ・性格 少し生真面目だけど困っている人や周りにいると助けてくれる優しい人です。

・好きなこと 近所を散歩したり自転車で遠出することがある。手先が起用でよく色んなものを作っている（本人は、趣味でやっているそうです）

・嫌いなこと 起こってしまったことをいつまでもうじうじ考えること。

ここからは、スキルとステータス

〔スキル〕

・ブブキ使い

ブブキと契約を交わした人間の総称。

体内に宿したリンズと呼ばれる粒子の力を自在に操りブブキを使う。力の強い者はブブキに頼らず、リンズの力だけで戦うことも可能。

・星の巨人

5つのブブキとして分離していた体の部位が合体することで完成する。サイズを変えて戦うこともできる。ただしブランキを出せる数は、一体のみ。

・綸子の力

ブブキ使いのみが体内に宿す力。レンズを無限につかうことができる。ブブキとブブキ使いは、常に赤い糸のようなレンズで繋がっている。離れたところにあつても取り出すことが出来る。レンズの力でステータス向上。

・振武器（ブブキ）、武蘭機（ブランキ）作成

ブブキの核やブランキの心臓を使って色々作れる。

【ステータス】

力：10 耐久：10 器用：10 敏捷：10 魔力：10

最初なのでこのくらいかな。だんだん強くしていく予定です。

基本は、ブブキを使ってオラリオを回ったりダンジョンに行ったりする予定。

・基本使うブブキ・ブランキ

四天王が使っていたブブキと炎帝（えんてい）の心臓です。理由は、単純にかっこいいからと四天王のブブキは、意外と使い勝手がいいからです。他には、原作主人公たちのブブキと王舞（おうぶ）の心臓とかを使います。ほかは、あまり使わないと思います。

原作の登場人物は、そのまま登場させてそこにオリキャラを登場させたいと思つて
います。

ブブキには、意志があるので時々独り言のように話したりしますがブブキの反応をつ
けると思っています。

いちお入るファミリアは、ロキ、ファミリアかヘステイア、ファミリアに入りたいと
思っています。

ロキ、ファミリアに入れるときは、ベルが酒場を飛び出すときにベートにリンズ珠
で気絶させて入れてくれと頼むかもしれません。

ヘステイア、ファミリアに入れるときは、旅の間に出会うかファミリアに誘ってくれ
るかどちらですね。

これからも頑張るのでこれからもよろしくの願ひします。

—————
|
—————